

市川三郷町 — ICHIKAWAMISATO TOWN —

市川三郷町 まちづくり公社 (仮称)

出資説明会

地域の価値を、未来へ。



02 | 市川三郷町の 豊かな地域資源

— ICHIKAWAMISATO TOWN —

歴史・文化・自然・人の営みが育んできた、

唯一無二の価値



神明の花火 地域の誇り

国内外からの人気
日本を代表する花火店



歌舞伎・歴史文化

市川團十郎発祥の地
甲斐源氏発祥の地
伝統文化の継承



豊かな自然

四尾連湖をはじめ
美しい景観
のっぴい土壌



農産物

甘々娘、大塚にんじん
富士山レモンなど
特色ある恵み



和紙・印章

受け継がれる伝統産業
卓越した職人業



03

資源があるだけでは、
未来につながらない

ICHIKAWAMISATO TOWN

市川三郷町には、歴史・文化・自然・農産物・伝統産業など、
唯一無二の地域資源があります。

しかし、資源が「ある」だけでは、地域の未来は自動的に続きません。
人・資金・仕組みがなければ、次の世代に引き継ぐことが難しくなります。

「ある」から「続く」へ。

地域にある価値を、事業として育て、次の世代へつなげる仕組みに変えていく。



これらの価値を未来に残していくために、
「ある」から「続く」循環を生み出す必要があります。

04 | なぜ、まちづくり公社なのか

ICHIKAWAMISATO TOWN

地域資源を「続く価値」にしていくためには、これまでの枠組みだけでは対応が難しい課題があります。多様な主体と連携し、継続的に事業を推進していく中核的な組織として、**まちづくり公社(仮称)**が必要です。



行政

公益性・信頼性
まちづくりの視点
各種調整・支援



民間

ノウハウ・資金
アイデア・人材
スピード感

まちづくり
公社
(仮称)



地域

地域資源・魅力
町民の想い
地域の担い手

行政・民間・地域の力をつなぎ、地域資源を継続的に事業化していく
中核的な組織として、**まちづくり公社(仮称)**が必要です。

05 | 私たちが目指すこと

ICHIKAWAMISATO TOWN

公社の目的を、シンプルに一つの言葉で表すなら。

地域の価値を磨く。
地域の外へ届ける。
その成果を地域の未来へつなげる。



磨く

地域にある
資源の価値を高める。



届ける

商品・サービスとして
地域の外へ発信し、届ける。



つなげる

得られた成果を地域に還元し、
次の世代へつなぐ。

事業として続けられる形にすることで、
地域の価値を次の世代へ。

06 | まずは、できることから。

ICHIKAWAMISATO TOWN

地域の強みを活かし、
段階的に事業を広げていきます。

公社が取り組む事業案

STEP
1

神明の花火

- 大会運営の安定化
- 協賛・有料席の拡充
- 関連コンテンツ・グッズ開発
- ブランド価値の向上

STEP
2

ふるさと納税・ 地域商品

- 返礼品の開発・拡充
- 町の特産品の販路拡大
- オリジナル商品の開発
- 地域事業者との連携

STEP
3

観光・交流・ 地域ブランド

- 観光コンテンツの開発
- イベントの企画・運営
- 地域ブランドの発信
- 交流人口の拡大

STEP
4

その他の 新規事業へ拡大

- 遊休資源の活用
- 新たなサービス・商品の開発
- 地域課題の解決につながる事業の検討
- 持続可能な事業への展開

得た収益・ノウハウを、次の事業へ。

まずは神明の花火を起点に、成果を見ながら少しずつ広げます。

07 | 地域の価値を、みんなで作る。

ICHIKAWAMISATO TOWN

公社だけでなく、
地域の皆さま・事業者・企業とともに、
それぞれの強みを持ち寄り、
持続可能なまちの未来をつくります。



みんなの強みで、まちの未来をつくる。

公社がすべてを行うのではなく、地域の皆さま・事業者・企業とつながり、
それぞれの強みを活かして、新しい事業を生み出していきます。

08 | 法人形態と経営体制(案)

ICHIKAWAMISATO TOWN

行政と民間、それぞれの知見を取り入れながら、専門性と透明性を備えた経営体制で、持続可能なまちづくりを進めます。



法人形態

株式会社

半官半民型の
地域経営会社



経営の中心

取締役会

行政・民間・金融・
地域団体・専門家等



代表取締役

経営能力を重視

民間を含む
幅広い人材から選任

設立後の
経営



取締役会を
中心に運営



民間の知見も
取り入れる



具体的な
事業計画を策定



まずは
実行できる事業から



中長期の
経営計画へ



事業を育て
改善する

設立して終わりではありません。

地域とともに考え、実行し、育てていく。持続可能なまちづくりのために、継続的に取り組みます。

09 | みんなで創る。みんなを支える。

ICHIKAWAMISATO TOWN

公社を町だけの取組にするのではなく、地域の企業・団体にも参画いただき、ともに支え、発展させていく仕組みを目指します。

地域の事業を、 ともにつくる仲間として。

それぞれの強みを持ち寄り、地域の資源を活かした事業をともに創り、持続可能なまちづくりにつなげていきます。



「出資」による参画

資金に加え、知見・人材・ネットワークを持ち寄り、公社の基盤を支えます。



「事業」での連携

それぞれの強みを活かし、新たな事業の創出や地域課題の解決に取り組みます。

10 | 地域づくりへの参画について

ICHIKAWAMISATO TOWN

市川三郷町まちづくり公社の取組は、地域の企業・団体の皆さまとともに進めていくことで、より持続可能で大きな力を生み出します。

— 出資という形で参画いただく場合の基本的な考え方です。 —

出資による参画のイメージ

1口あたりの金額	口数の目安	出資金額の目安
20万円	1口	20万円
	2～4口	40万円～80万円
	5口	100万円

※ 出資単位は、設立準備段階の案です。

※ 具体的な権利・役割・取扱いは、設立後の定款・株主間の取り決め等を踏まえて検討します。

経営参画パートナー(案)【5口100万円以上】

出資額だけでなく、地域への関わり方を重視します。



民間の知見を
経営に取り込む



取締役候補者の
推薦等を検討



11 | 出資以外の形でも、地域づくりに**参加**できます

ICHIKAWAMISATO TOWN

市川三郷町まちづくり公社は、
出資だけでなく、さまざまな形で
地域の企業・団体の皆さまと連携していきます。

それぞれの強みを活かして、 ともに市川三郷町の**未来をつくる**。

—— 出資のほか、事業・人材・物品・情報など、多様なかたちでのご参加をお待ちしています。 ——

経営参画パートナー（案）



5口 100万円 の場合

出資を通じて経営に参加

民間の知見を経営に取り込むことを検討し、
公社の運営に反映していきます。

地域連携パートナー（制度案・検討中）



出資をしなくても参加

事業面からの連携

商品開発・販売・観光・イベント・PR・技術・
人材・ノウハウなど、さまざまな形で
公社の事業にご協力いただけます。

出資・参画のお願い

ICHIKAWAMISATO TOWN

ともに創る、 誇れるまち。

市川三郷町まちづくり公社は、
町の大切な地域資源を次の世代へつなぎ、
持続可能で魅力あるまちをともに創っていくための新たな挑戦です。
ぜひ、貴社・貴団体の力をお貸してください。
ともに、市川三郷町の未来をつくっていきましょう。



企業・団体の皆さまと
ともに
地域資源を活かし、
新たな価値を創出します。



地域と次世代のために
持続可能で魅力ある
まちを目指します。



市川三郷町の未来を
ともに
人が集い、誇れるまちを
次の世代へつなぎます。

市川三郷町まちづくり公社（仮称）

出資・参画に関する 意向確認フォーム

本日の説明会にご参加いただき、
ありがとうございました。

今後の公社設立準備、出資の受付、
地域企業・団体との連携等の検討にあたり、
皆様のご意向をお聞かせください。



こちらのQRコードから
ご回答をお願いします

回答期限

2026年10月13日(火)まで